

『まだ、法学を知らない君へ — 未来をひらく13講』の刊行について

2022年7月1日

東京大学法学部・法学政治学研究科

法学を学ぶと、どのような興味深い課題に出会い、かかわることができるのか。文系・理系を問わず、東京大学の学部1年生・2年生を対象として、東京大学法学部の教員13名が講義をした記録が、1冊の書籍として刊行されます。

学部1年生・2年生だけでなく、法学部とはどのようなところなのかと関心を持った高校生、学ぶ意義を再確認しようとする学部3年生・4年生や法科大学院の学生、アンテナをさらに磨こうとする職業人など、多くの皆様が手に取ってくださるならば、ありがたく存じます。

書名 　　まだ、法学を知らない君へ — 未来をひらく13講
編者 　　東京大学法学部「現代と法」委員会
出版社 　株式会社有斐閣
発売日 　2022年7月6日
定価 　　1,980円（本体 1,800円）
ISBN 　　978-4-641-12636-7

それぞれの講の題名と執筆者

- ・ デジタル社会と憲法（宍戸常寿）
- ・ 同性カップルと婚姻（沖野眞巳）
- ・ 刑法は個人の尊厳を守れるか（和田俊憲）
- ・ 金融サービス仲介業制度の導入（神作裕之）
- ・ 役員報酬と法（飯田秀総）
- ・ 非正規格差をなくすには（神吉知郁子）
- ・ 著作権法の過去・現在・未来（田村善之）
- ・ プラットフォーム全盛時代に適正な競争を確保する（白石忠志）
- ・ ビッグテックの台頭（Simon VANDE WALLE）
- ・ GAFAsの利益をつかまえる（増井良啓）
- ・ 国家間のサイバー攻撃をどう規制するか？（森肇志）
- ・ 契約とContract（溜箭将之）
- ・ 一人一票の原則を疑う（瀧川裕英）

* 執筆者はいずれも東京大学大学院法学政治学研究科の教授または准教授であり、法学部も担当しています。

株式会社有斐閣における該当ウェブページ

<http://www.yuhikaku.co.jp/books/detail/9784641126367>

お問合せ先

東京大学先端ビジネスロー国際卓越大学院プログラム事務局

ablp [at] j.u-tokyo.ac.jp

